

4 講演会

厚生労働省 令和元年度 慢性疼痛診療体制構築モデル事業 慢性疼痛診療講演会

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士・作業療法士・臨床心理士・ソーシャルワーカーなどを対象として下記の慢性疼痛講演会を開催いたしました。本講演会では、講演の内容への理解が深まるように、講師の先生から事前にご提供いただいた資料を元にレジメを作成し、参加者へ当日配布しました。来年度以降は全道各地でこのような講演会を立案、開催していきたいと考えています。



第1回慢性疼痛診療講演会

日 時:令和元年10月9日 18時～19時

場 所:ニューオータニイン札幌

座 長:御村 光子先生 (NTT東日本札幌病院 ペインクリニックセンター)

講 師:益子 竜弥先生 (エメラルド整形外科疼痛クリニック)

内 容:「生物心理社会モデルによる複合性局所疼痛症候群の治療」

CRPS、脳fMRIを用いた慢性疼痛の評価、生物医学的・心理学的・社会的アプローチ、慢性疼痛に対する漢方薬の使用法などにつきご講演いただきました。

参加者: 42名 (医師18名、薬剤師1名、看護師2名、理学療法士8名、放射線技師3名、臨床工学技士2名、その他5名)



第2回慢性疼痛診療講演会

日 時:令和元年11月9日 14時～15時

場 所:札幌パークホテル

座 長:三名木泰彦先生(朝里中央病院整形外科)

講 師:井上 雅之先生(愛知医科大学運動療育センター・学際的痛みセンター)

内 容:「慢性疼痛の集学的診療システムにおけるリハビリテーションの実際」

痛みの多面的側面を踏まえての集学的診療システム導入の必要性、愛知医科大学学際的痛みセンターでの集学的診療フロー、リハビリテーションの実際、痛みのマネジメントプログラムについてご講演いただきました。

参加者:29名(医師11名、理学療法士11名、作業療法士1名、放射線技師1名、その他5名)



第3回慢性疼痛診療講演会

日 時:令和2年1月17日 18時～19時

場 所:ニューオータニイン札幌

座 長:寺島 嘉紀先生(札幌医科大学整形外科・細胞生理学講座 講師)

講 師:山中 学先生(和歌山県立医科大学整形外科 助教)

内 容:「不安と痛みの関わり 見えぬ情動と痛みを電気生理学的に見る」

情動と痛みに関する in vivo patch clamp 法を用いた電気生理学的研究、ケタミンの疼痛抑制効果、カナダ トロントでの疼痛研究についてご講演いただきました。

参加者:15名(医師7名、理学療法士2名、放射線技師1名、その他5名)



第4回慢性疼痛診療講演会

日時:令和2年2月12日 18時～20時

場所:札幌プリンスホテル パミール館

特別講演1

座長:石井 貴男先生(札幌医科大学神経精神医学講座 講師)

講師:井上真一郎先生(岡山大学病院 精神科神経科 助教)

内容:「運動器慢性痛患者の多面的評価と治療～精神科医の立場から～」

運動器慢性痛患者診療において精神科医との連携をどう考えるか?精神面にどうアプローチするか?慢性疼痛患者に用いる精神科薬についてご講演いただきました。



特別講演2

座 長:山下 敏彦先生(札幌医科大学整形外科学講座 教授)

講 師:鉄永 倫子先生(岡山大学病院整形外科助教・運動器疼痛性疾患治療研究センター副センター長)

運動器慢性痛患者診療における慢性疼痛の多面的評価方法、岡山大学 運動器疼痛性疾患治療研究センターでの治療、就労支援システムなどの取り組みについてご講演いただきました。

内 容:「運動器慢性痛患者の多面的評価と治療～整形外科医の立場から～」

参加者:29名(医師17名、看護師1名、理学療法士6名、作業療法士1名、放射線技師1名、その他3名)